

現地滞在 2025年2月13日(木)～2月27日(木) 15日間
エストニア国立タリン大学 主催

エストニア・タリン大学 春期ロシア語 短期留学プログラム

募集要項



2025年2月13日(木)～2月27日(木) 現地15日間

エストニア タリン大学

春期ロシア語短期留学プログラム

スケジュール			<食事> 朝 昼 夜		
1日目 2/12 (水)	23:05 成田発	◇LOTポーランド航空(LO)080便 (※ご利用フライトの例。他の日程・フライトも可能です)	X	X	機内泊
2日目 2/13 (木)	05:40 ワルシャワ着 10:40 ワルシャワ発 13:25 タリン着	◇着後、乗継。 ◇LOTポーランド航空(LO)785便 (※ご利用フライトの例。他の日程・フライトも可能です) ■着後、送迎車でタリン大学学生寮へ。入寮手続と、学内・寮生活についてのオリエンテーション。	機内	X	X
3～15日目 2/14 (金) ～ 2/26 (水)	<p>■授業開始 ・平日(月～金)の午前から昼にかけて実施されます(開講日は全10日間)。 ・1日あたりの授業時間: 1コマ45分 × 4コマ = 180分です。 ・読解、聴取、会話、作文の能力向上を主眼とします。 ・CEFR A2(初級～中級)、もしくはそれ以上の方を対象とします。 ・グループは、能力別に、最少4名、最大13名で編成されます。</p> <p>■課外授業: 下記のプログラムが実施されます。 ・世界遺産タリン旧市街見学と、アレクサンドル・ネフスキ大聖堂の見学(正教会司祭による文化的背景の解説を含む) ・ピョートル大帝の小屋博物館見学(大北方戦争後にピョートル大帝が築いた離宮内にある家。大帝ゆかりの品々がある) ・ロシア劇場訪問見学(1948年開設。ロシア語による演劇を上演、エストニアのロシア語社会の文化の中心のひとつ。)</p> <p>■タリン大学 学生との交流プログラム(本短期留学参加者向け): ・同大学の、ロシア語を母語とする現地学生たちとの交流イベントを実施。 ・同大学で、日本語を学ぶ現地学生たちとの交流イベントを実施。</p> <p>■タリン大学 学生寮について: ・大学敷地に隣接し、授業へも都心へのアクセスにも便利です。 ・2-3名1室です(男女別)。共用キッチンがあり自炊可能です。</p> <p>■オプショナル: ホームステイ(ロシア語を母語とする家庭) ・学生寮の滞在を、ホームステイに変更することができます。 ・1室個室2食付き。6泊7日(24,000円)もしくは全期間(48,000円)。</p>	X	X	X	
16日目 2/27 (木)	18:20 タリン発 19:00 ワルシャワ着 22:50 ワルシャワ発	■授業最終日: 修了証(取得単位の証明書)授与 ※日本国内のご所属大学での単位換算に必要な場合は、追加書類が発行されます。 ■送迎車で空港へ。 ◇LOTポーランド航空(LOT)788便 (※ご利用フライトの例。他の日程・フライトも可能です) ◇乗継 ◇LOTポーランド航空(LOT)079便 (※ご利用フライトの例。他の日程・フライトも可能です)	X	X	X
17日目 2/28 (金)	14:55 成田着	◇着後、解散。	機内	機内	X

本プログラムの開始日	2025年2月14日(金)
最少催行人員	4名様
旅行代金 (授業料・寮費・空港送迎代) ※航空券代金は含まれません	¥213,000

○代金に含むもの: 日程に記載の、授業料(課外授業、交流プログラムを含む)、学生寮代金14泊分(2-3名様1室利用)、タリン空港・学生寮の往復送迎車。
○代金に含まないもの: 日本・タリン間の国際航空券、食費等個人的経費。
○フライトはあくまで例です。欧州各地を回り、現地でプログラムに合流いただくことも可能です。
○本ツアーコンサルティングには、エストニアが加盟しているシンゲン協定域内国からの出国後3ヶ月以上の残存有効期間があるパスポートをご用意ください。

<国際航空券について>

本プログラムは、国際航空券は別途手配となります。
①航空券はご自身でも、弊社手配も可能です。弊社では御希望に合わせた航空券手配も可能です。御相談下さい。
②上記日程のほか、ご自身でヨーロッパ等各地を周遊し、現地で本プログラムへの合流も可能です。(その場合、学生寮へはご自身でお越しください)
③参考: 上記日程表フライト例の料金(2024年12月16日現在)
LOTポーランド航空券代金: 87,500円
空港諸税・燃油付加運賃等: 68,250円
旅行経費総額: 368,750円

※航空券はご予約時点の空席状況に基づく料金となります。

※空港諸税・燃油付加運賃は、為替レートや燃油価格による変動します。



タリン大学とは

エストニアで第三の規模を持つ国立大学。学生数約7000人。首都タリンの都心に隣接してキャンパスがあり、世界の大学国際ランキングの上位5%に数えられています。人文学部・教育学部・ガヴァナンス・法・社会学部・デジタル工学部・自然科学健康学部・映画・メディア・芸術・コミュニケーション学部の全6学部、11研究機関。

20世紀に活躍したサンクトペテルブルク出身の著名な記号学者ユーリー・ロトマンの作品を豊富に所蔵しており、多数のロシア知識人との書簡も含まれています。日本の大学との交流も盛んです。

現地学生との交流プログラム

現地滞在中、タリン大学で学ぶロシア語を母語とする学生たちとの交流イベントが開催され、エストニアに暮らすロシア語話者のコミュニティーやエストニアにおけるロシア文化について深く知る機会があります。

さらに、タリン大学で日本語を学ぶ学生の皆さんとの交流イベントも開催され、現地の友人を増やし、相互の文化理解を深める絶好の機会となります。

学生寮について

大学メインキャンパスに隣接し、都心へのアクセスに便利です。部屋割りは、2-3名1室(男女別)。共用キッチンでの自炊が可能です。施設は近代的で、清潔に保たれています。

ホームステイ・プログラム(オプショナル)

ご希望の方は、大学がアレンジするロシア語を母語とする家庭でのホームステイも可能です(1室2食付き)。

6泊7日(24,000円)もしくはプログラム期間中の全日程(48,000円)のいずれかからお選び下さい。

授業内容

授業は、大学キャンパスにて平日(月～金)午前に実施。毎日1コマ45分×4コマ=180分の授業が、全10日間開講。読解、聴取、会話、作文の能力向上を主眼。CEFR A2(初級～中級)、もしくはそれ以上の方が対象です。グループは能力別に、最少4名、最大13名で編成されます。

課外授業

学内での授業のほかに、下記の課外見学授業があります。

【文化】世界遺産タリン旧市街見学と、アレクサンドル・ネフスキードーム見学(正教会司祭による文化的背景の解説を含む)

【歴史】ピョートル大帝の小屋博物館見学(大北方戦争後にピョートル大帝が築いた離宮内にある家。大帝ゆかりの品々がある)

【芸術】ロシア劇場を訪問・見学(1948年開設。ロシア語による演劇を上演、エストニアにおけるロシア語文化の発信地のひとつ。)

現地での合流・参加も可能

ヨーロッパを周遊し、現地でプログラムに合流することも可能です。

(必ずしも日本から同時に出発・帰国する必要はありません)



▲ 学生寮の部屋の内部

今、なぜエストニア・タリン大学でロシア語を学ぶのか？

1)エストニアとロシアの歴史を物語る文化遺産

エストニアは、ヨーロッパ社会とロシア社会の境界に位置し、現在も、帝政ロシア支配下の時代の遺産(ピョートル大帝の建設したカドリオルク宮殿、ロシア正教会や修道院)や、いわゆる古儀式派と呼ばれるロシア正教の旧教徒(約15,000人)もいます。また、ソ連時代の歴史を物語る施設も保存されています。エストニアを含むバルト三国のソ連からの独立は、その後のソ連崩壊のきっかけとなり、現代史に大きな影響を与えました。

2)エストニアにおけるロシア語を通じて考える、複数の民族と言語が共存する社会の現在と未来

エストニアは、フィン・ウゴル語系のエストニア語を母語とするエストニア人が主幹民族の国ですが、帝政ロシアとソ連時代を経て、国民全体の28%、首都タリンでは市民の43%がロシア語を母語とする人々で構成されています。

現在は戦争によってウクライナから避難してきた人々と、地元の人々のコミュニケーションの言語としても、ロシア語が使用されています。

その他、旧ソ連各地から様々な時代に、様々な経緯でエストニアに移住した人々が、エストニアにおけるロシア語話者を構成しており、タリン市内を歩く多くの人々がロシア語を日常的に使用しているのを耳にすることができます。

ロシア語話者が多く暮らすエストニアでは、ソ連解体後、ロシア語話者とエストニア社会の統合プロセスが行われてきました。

現在、エストニアでは国営テレビ・ラジオ局により、ロシア語話者向けにロシア語の番組が放送されています。また、タリンには1948年創設のロシア語劇場があり、エストニアにおけるロシア語文化の拠点のひとつとなっています。その他、エストニアにおけるロシア文化の保存に取り組む協会も活動しており、これら機関の運営には、エストニア政府の資金援助が行われています。さらに、エストニア東部に暮らすロシア正教古儀式派の人びとの伝統は、エストニアが誇る観光資源の一つとなっています。一方で、社会全体のエストニア語化のプロセスを加速化しようとする主張も存在します。

この統合プロセスは、エストニアの独立以来、世界情勢に連動して様々な変化を続けており、常に幅広い議論が行われてきました。

このプログラムでは、ロシア語やロシア文化を学ぶと共に、ロシア語コミュニティーに属する人々や、エストニアの一般学生との交流を通じて、エストニア特有の歴史と文化を知り、複数の民族と言語が共存する社会の現在と未来について考えることが可能です。

3)ヨーロッパ各地へのアクセスのよさ

港町タリンは、海を挟んでヘルシンキと向かい合っており、フェリーを使えば数時間で北欧フィンランドへ。日帰り・1泊2日旅行も可能です。

その他、東・中欧諸国をはじめとするヨーロッパ各地とフライトで結ばれており、アクセスの良さも魅力です。

お申込方法

① 下記サイトの旅行申込書に必要事項をご入力のうえ、弊社までeメールでご返送ください。

<https://russia.co.jp/fukui/ryugaku-250213-tlu-moshikomisho.xls>

送付先メールアドレス: info@russia.co.jp

② 申込金￥40,000円(旅行代金の一部)を下記の弊社口座まで御振込下さい。

お振込先: みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金口座 1187333 (株)ロシア旅行社

旅行契約は、「旅行申込書」と「申込金」を受領したときに成立するものとします。

お申込成立後、今後のお手続きの流れのご案内をお送りいたしますので、それに従って以降のお手続きをお願い申し上げます。

※本ご旅行は、募集型企画旅行です。お申込にあたりましては下記の旅行条件書をご確認下さい。

<https://russia.co.jp/wordpress/jokensho/kaigai-boshu.pdf>

※弊社で現地までの航空券手配をご希望の方は、別途ご相談ください。御希望に応じた航空券を手配いたします。

お申込締切: 2025年1月17日(金)



TALLINN UNIVERSITY



株式会社ロシア旅行社 募集型企画旅行条件と免責事項(要旨)

このご旅行は、株式会社ロシア旅行社が行う募集型企画旅行です。ご旅行条件は、本パンフレット、旅行条件書、出発前にお渡しする最終日程表(確定書面)及び当社の募集型企画旅行契約の部によります。

※旅行代金に含まれるもの

- ①ご旅行日程に明示した航空、船舶、鉄道等利用運送機関の運賃・料金(この運賃・料金には、各空港施設使用料、出国税、運送機関の課す付加運賃等を含みません。)
- ②ご旅行日程に明示した送迎バス等の料金(空港・駅・埠頭と宿泊ホテル間、観光中)
- ③ご旅行日程に明示したホテルの2名様1室ご利用の場合の1名様あたり宿泊料金及び税・サービス料金
- ④ご旅行日程に明示した食事・飲物の料金及び税・サービス料金
- ⑤ご旅行日程に明示した観光の施設入场料・ガイド料
- ⑥ご旅行日程に明示したプログラム参加費用
- ⑦航空会社規定の無料受託手荷物輸送
- ⑧添乗員経費(添乗員同行ツアーの場合)

※旅行代金に含まれないもの

- ①渡航手続諸経費(旅券・査証の取得料金、予防接種料金、渡航手続き取扱料金)
- ②超過手荷物料金
- ③個人的な費用(電話・電報料、クリーニング代、追加飲食料金等)
- ④各空港施設使用料、出国税、運送機関の課す付加運賃等
- ⑤傷害・疾病に関する医療費
- ⑥任意の旅行傷害保険料
- ⑦自由行動中の諸経費

※旅行契約成立後、お取り消しの場合の取消料について、旅行契約の解除期日が下記の場合

- ①旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降(②③④を除く) 旅行代金の10%
- ②旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降(③④を除く) 旅行代金の20%
- ③旅行開始日の前々日以降(④を除く) 旅行代金の50%
- ④旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合 旅行代金の100%

※「ピーク時」とは12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

お申込み・お問合せは

旅行企画・実施: 観光庁長官登録旅行業第98号

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9-3 新盛ビル5階

 株式会社ロシア旅行社
JAPAN-RUSSIA TRAVEL SERVICE CO., LTD.

一般社団法人 日本旅行業協会 正会員 総合旅行業取扱管理者 福井学

 (03) 5341-4571

E-mail: info@russia.co.jp FAX: (03) 5341-4571

営業時間: 平日月~金 09:00~18:00 (土日祝休み)